

さわやかな風が吹き渡る季節となりました。 「コア通信」最新号のお届けです。

音楽と<mark>映像</mark>を皆様にお届けする サウンドオフィス・コアのニュースレターです。

季節に合うおすすめの1曲

5月 みかんの花咲く丘

昭和21年8月に加藤省吾によって作詞された出来たての歌詞を、伊東行きの列車内で作曲家・海沼實が作曲を行なった。当時、「リンゴの唄」が大ヒットしていた為、実ではなく花をモチーフにしている。窓にみかん畑が現れる国府津駅付近で前奏が浮かび、伊東線の字佐美駅付近でようやく曲が完成し、現在は字佐美駅と伊東駅で発車メロディとして聴くことが出来る。

6月 シェルブールの雨傘

1964年ジャック・ドゥミが監督をし、ミシェル・ルグランが音楽を担当した 全編音楽のみで台詞無しのミュージカル映画の主題歌。別れを嘆き悲し んでいる様子を歌っており、ポピュラー音楽のスタンダードナンバーとして 多くの歌手に歌い継がれている。

心に響く一曲「幸せな結末/大瀧詠一」

1997年11月に発売された通算14枚目のシングル曲。木村拓哉・松たか子主演で社会現象となった恋愛ドラマ「ラブジェネレーション」の主題歌として起用された。どこか懐かしさを感じさせるメロディーと、恋する男性の想いが綴られ、ミリオンセラーを達成した。

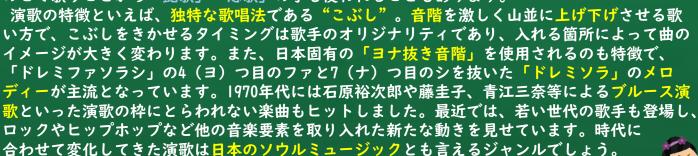
大瀧が急死した翌年の2014年は追悼イヤーとなり、鈴木雅之、一青窈などがカバーとして楽曲を発表。近年では、1970年~80年代に細野晴臣・松本隆と共に"ナイアガラトライアングル"や、山下達郎・大貫妙子と共に"シュガーベイブ"などで活動して生まれた都会的サウンド「シティ・ポップ」が再注目されている。また今年3月には「君は天然色」をはじめとするヒット曲をリマスター音源で収録した『A LONG VACATION 40th Anniversary Edition』がリリースされた。CDショップでは特設コーナーが設置され、時を超え、世代を超え、大瀧詠一の音楽は生き続けている。

髪をほどいた 君の仕草が 泣いているようで 胸で騒ぐよ 振り返るのは 終わりにしよう 他の誰でもなく 今夜君は僕のもの

(日本音楽著作権協会(出)許諾 第 2103620-101)

音楽ジャンル基礎講座 VOL.3「演歌」

元々は明治時代の自由民権運動において演説代わりに歌った「演説歌」を略して「演歌」となりました。やがて徐々に政治色は薄くなり、1960年代に現在のような曲調に定着し、悲恋や人情歌をバイオリンやアコーディオンにのせて歌うことから「艶歌」「怨歌」の字も使われることもあります。



<演歌と言えばこんな曲>

【カラオケで人気】まつり/北島三郎 天城越え/石川さゆり 夜桜お七/坂本冬美 【ヨナ抜き音階】 北国の春/千昌夫 箱根八里の半次郎/氷川きよし 北酒場/細川たかし 【ブルース演歌】 ブランデーグラス/石原裕次郎 圭子の夢は夜ひらく/藤圭子

♪ 編集後記 ♪

先日仕事帰りの電車で偶然友人に会いました。 コロナ前までは、ほぼ週一回ペースで会っていた のに、今ではメールのやり取りのみで、昨年11月 以来の再会でした。最寄り駅までの数分の会話 でしたが、妙に嬉しく感じました。お互いの趣味で ある野球観戦の予定を立てたので、シーズンが終わるまで はまた楽しく過ごせそうです。 ♪コア美 急なご依頼にもまごころこめて対応いたします。

サウンドオフィス・コア

〒202-0012 東京都西東京市東町3-13-21 クレストコート保谷403

TEL:042-421-7150 FAX: 042-422-0894 HPアドレス: http://www.so-koa.jp